

令和3年度
自己評価 報告書

評価期間 自:令和 2年4月 1日
至:令和 3年3月31日

令和3年5月15日

専門学校日本デザイナー学院

本報告書は平成25年3月に文部科学省生涯学習政策局の作成『専修学校における学校評価ガイドライン』及び、特定非営利活動法人私立専門学校評価研究機構の作成『第三者評価システムの概要Ver 4.0』に準拠し実施した。

目 次

1. 学校の教育目標と使命	P3
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	P3
3. 点検項目の評価結果	P4～10
(1) 教育理念	P4
(2) 学校運営	P4
(3) 教育活動	P5
(4) 教育成果	P6
(5) 学生支援	P6・7
(6) 施設整備	P7
(7) 学生募集	P7・8
(8) 財務	P8
(9) 法令順守	P8・9
(10) 社会貢献	P9
(11) 国際交流	P9・10
4. 自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果	P10
(1) 教育評価	P10
(2) 財務評価	P10
(3) 一般的評価	P10

1. 学校の教育目的と使命

目的：「生活と文化に携わる有能なクリエイターを育成する」ことを目的とする。

使命：職能上必要とされる技能を履修させ、教養を積み、同時に人間形成に努め
社会人としての自覚と責任を持つ人材の育成を使命とする。

【職能的指導方針】

1. 基礎知識、技術の習得
2. 専門基礎知識、技術の習得
3. 専門知識、技術の習得

プロとしての基本知識と技術の習得、創造性豊かな人材育成を教育指導方針とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・教育内容の整備:各学科ごとに教育内容の見直しを図り業界のニーズに合わせた
高付加価値教育の徹底を行う。
- ・学習環境の整備:オンライン教育の整備と様々な感染症対策など学生安心して学ぶことができる
環境を整備し学生の学びを深める
- ・情報公開の整備:学園の基本情報等を公開し、外部の方へからへの透明性と理解度を高める。

3. 自己点検・評価項目の結果

(1) 教育理念に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
1-1)	教育理念・教育目標は示されているか	4・・・適切
1-2)	学校の特色は示されているか	4・・・適切
1-3)	学校の将来構想は示されているか	4・・・適切
1-4)	学校の理念・目的・特色などが学生・保護者に周知されているか	3・・・ほぼ適切
1-5)	各科の教育目標、人材育成像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3・・・ほぼ適切

①課題

学校関係者、保護者等に周知するためホームページへの公開をしているが浸透していない。

②今後の改善方策

引き続き教育理念等の公開場所の周知と講師会等での通達を行う。

③特記事項

前年度と比較し3項目で評価は上がっている。少なからず効果は出ている。

(2) 学校運営に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
2-1)	運営方針は定められているか	4・・・適切
2-2)	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4・・・適切
2-3)	運営組織や意思決定機能は示されており機能的な構成となっているか	4・・・適切
2-4)	人事や給与での処遇に関する制度は整備されているか	4・・・適切
2-5)	意思決定システムは確立されているか	4・・・適切
2-6)	業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4・・・適切
2-7)	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4・・・適切
2-8)	情報システム等による業務の効率化が図られているか	3・・・ほぼ適切

①課題

[

②今後の改善方策

[

③特記事項

全項目で大きく評価が上がっている。引き続き運営に関して明確にし整備の徹底を行う。

(3) 教育活動に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
3-1)	教育活動は教育理念等に沿った編成・実施方針となっているか	4…適切
3-2)	カリキュラムは業界の人材ニーズに対応しているか	3…ほぼ適切
3-3)	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3…ほぼ適切
3-4)	キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが反映されているか	3…ほぼ適切
3-5)	定期的カリキュラムの見直しはなされているか	4…適切
3-6)	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4…適切
3-7)	成績評価の基準は明確になっているか	4…適切
3-8)	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3…ほぼ適切
3-9)	授業評価は実施されているか	3…ほぼ適切
3-10)	資格取得等に関する指導体制やカリキュラムはできているか	3…ほぼ適切
3-11)	人材育成目標の達成に向けて授業を行う講師を確保しているか	4…適切
3-12)	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3…ほぼ適切
3-13)	関連分野における先端的な知識・技能等を取得するための研修や教員の指導力育成や向上のための取組が行われているか	3…ほぼ適切
3-14)	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3…ほぼ適切

①課題

- ・担当している学科以外の情報が見えにくい
- ・外部(該当企業や個人事業主等)と講師陣との意見のすり合わせ

②今後の改善方策

- ・各科教育目標やシラバス等教育内容の共有
- ・学校の教育目標・人材育成目標の再確認および認識の共有

③特記事項

昨年度より5項目において評価は上がっている。カリキュラムの改革は今年度も徹底して行っていくので講師や外部と連携を図り業界のニーズにあったものへと追及していく。

(4) 教育成果に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
4-1)	就職率を向上させるための施策は図られているか	3・・・ほぼ適切
4-2)	資格取得の向上が図られているか	3・・・ほぼ適切
4-3)	退学者を減らすための施策は図られているか	3・・・ほぼ適切
4-4)	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3・・・ほぼ適切
4-5)	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3・・・ほぼ適切

①課題

- ・就職に対する学生の意識改革(就職に対する意識・行動のタイミングが遅い)
- ・学生が抱える本質的な課題(悩み・不安など)の把握

②今後の改善方策

- ・今年度より入学から卒業まで各期毎に目標と具体的な施策を策定実施中。適宜ブラッシュアップし次年度も徹底を行う。
- ・目的を明確にした個別面談を定期的に徹底。

③特記事項

-

(5) 学生支援に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
5-1)	就職に関する支援体制は整っているか	3・・・ほぼ適切
5-2)	学生相談などの支援体制は整っているか	4・・・適切
5-3)	学生への奨学金等の経済的支援は整っているか	4・・・適切
5-4)	学生の健康管理に関する支援体制は整っているか	3・・・ほぼ適切
5-5)	課外活動に関する支援体制は整備されているか	3・・・ほぼ適切
5-6)	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	3・・・ほぼ適切
5-7)	保護者と適切に連携しているか	3・・・ほぼ適切
5-8)	卒業生への支援体制はあるか	3・・・ほぼ適切
5-9)	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3・・・ほぼ適切
5-10)	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3・・・ほぼ適切

①課題

- 各支援に対する専門家との契約と学生満足度の向上および実施内容の共有。

②今後の改善方策

〔 カウンセリング専門スタッフの採用を検討。
学生アンケートを活用し学生満足度の向上を図ると共に定期的な情報共有を徹底する。 〕

③特記事項

〔 個々に支援体制を整えているが職員・講師の実施内容の把握が自己評価に影響している。 〕

(6) 施設設備に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
6-1)	施設・設備はカリキュラムに対応出来ているか	3・・・ほぼ適切
6-2)	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4・・・適切
6-3)	防災体制は整っているか	4・・・適切

①課題

〔 古くなった機材の入れ替え。 〕

②今後の改善方策

〔 新規機材と入れ替えを行い、不足機材等の購入を検討する。 〕

③特記事項

〔 校舎建て替え5年が経過し適宜施設の補修を行っている。
機材も老朽化してきたものもあるため入れ替え計画も進める。 〕

(7) 学生募集と受け入れに関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
7-1)	学生募集の活動は希望者の意向を配慮し適切に行われているか	4・・・適切
7-2)	教育内容を適切に学生募集に反映しているか	4・・・適切
7-3)	入学選考の時期・基準・方法は適正か	4・・・適切
7-4)	納付金は妥当なものとなっているか	4・・・適切

①課題

〔 新型コロナウイルス感染症の影響による募集方法の変化と対応。 〕

②今後の改善方策

[オンラインを活用した広報戦略の企画・実施。]

③特記事項

[]

(8) 財務に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
8-1)	中長期的な財務基盤は安定しているか	4・・・適切
8-2)	予算・収支計画は有効かつ妥当か	4・・・適切
8-3)	会計監査は適正に行われているか	4・・・適切
8-4)	財務情報公開の体制整備はできているか	4・・・適切

①課題

[特になし]

②今後の改善方策

[]

③特記事項

[学園本部と連携し予算・収支計画の管理を行い外部監事による経理監査など、財務基盤に関わる業務について徹底して整備されている。]

(9) 法令順守に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
9-1)	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4・・・適切
9-2)	個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	4・・・適切
9-3)	自己評価の実施と問題点について改善に努めているか	4・・・適切
9-4)	自己評価結果を公表しているか	3・・・ほぼ適切

①課題

[自己評価結果は公開しているが評価がついていない。講師に対する情報共有が不足している。]

②今後の改善方策

[昨年より導入したオンラインシステムを活用し情報共有を徹底する。]

③特記事項

[]

(10) 社会貢献に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
10-1)	教育資源や設備を活用しての社会貢献はなされているか	4・・・適切
10-2)	学生のボランティア活動に対する支援は整備されているか	3・・・ほぼ適切
10-3)	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3・・・ほぼ適切

①課題

[新型コロナウイルス感染症による活動制限を考慮した上での実施。]

②今後の改善方策

[オンラインを活用した実施や人との距離を保った案件の検討など、活動が止まらないように関係各所との連携を図る。]

③特記事項

[]

(11) 国際交流に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
11-1)	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4・・・適切
11-2)	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4・・・適切
11-3)	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4・・・適切
11-4)	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3・・・ほぼ適切

①課題

[新型コロナウイルス感染症による留学生の受け入れ。]

②今後の改善方策

姉妹校であるマレーシア校と連携した海外直接出願対策。すでに来日している留学生に対する対策。

③特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1) 教育評価

専門性を高める基礎から応用までの教育を徹底し、新型コロナウイルス感染症により対面授業の実施が危ぶまれたが早期にオンラインシステムを導入し学びを止めず一年間続けることが出来た。科を超えた特別授業やSWSや国内研修、学園祭など、様々なイベントを中止とせざるを得ない年度となった。しかしオンラインでのメリットとデメリット、対面でのメリットとデメリット等、それぞれの特徴を実感することが出来、オンラインの取り組みによって効果が出たイベントもあった。

今後は学園の教育方針により沿ったカリキュラム設定を行うために改めて教育内容の見直しを図り高付加価値教育への質を高めていく。また、株式会社SCHOOとの連携など、オンラインのメリットを活かし深い学びと幅広い学びを提供できるよう徹底すると共に日本だけではなく海外でも活躍し続けることができる人材育成に注力していく。

(2) 財務評価

定期的に経理監査を行い抜け漏れ、ミス等のチェックを行っている。理事会・評議員会でも決算報告や予算報告等を行い承認を受けている。適正な予算・収支計画に基づき安定的な運営を行っている

(3) 一般的評価

今年で54年目を迎えるデザインの専門学校として数々の実績を残してきた。九州地区でも有数のデザイン専門学校といえる。新型コロナウイルスの影響を大きく受け、教育方法の変化・就職に対しても厳しい対応を受けざるを得ない状況となった。しかし予てより進めていたオンラインを活用した教育方法の転換など、急速に取り組むことが出来、成果がある一年となったと共に課題も浮彫になった。目まぐるしく変わっていく時代の変化と共に学園全体としての変革も急務と掲げている状況は変わらず「高付加価値教育」「オンラインの活用」「マレーシア校の開校」など重点的に注力していく。計画を早期実現するため職員のスキルの向上および業務へ向き合う姿勢を高めなくてはいけない。グループ4校の教職員のコミュニケーションを密に行い、高付加価値教育を各校学生に提供できるよう引き続き取り組んでいく。

